

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

再生医療をあたりまえの医療に

Creating a Future for Regenerative Medicine

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（東証グロース：7774）

2026年7月30日



1QはジャックOAによる大幅増収と黒字化を達成、安定黒字基盤構築に向け前進

2027年3月期1Q実績

売上高 **766**百万円

前年比 +340百万円

営業損益 **59**百万円

前年比 +303百万円

当期純損益 **52**百万円

前年比 +294百万円

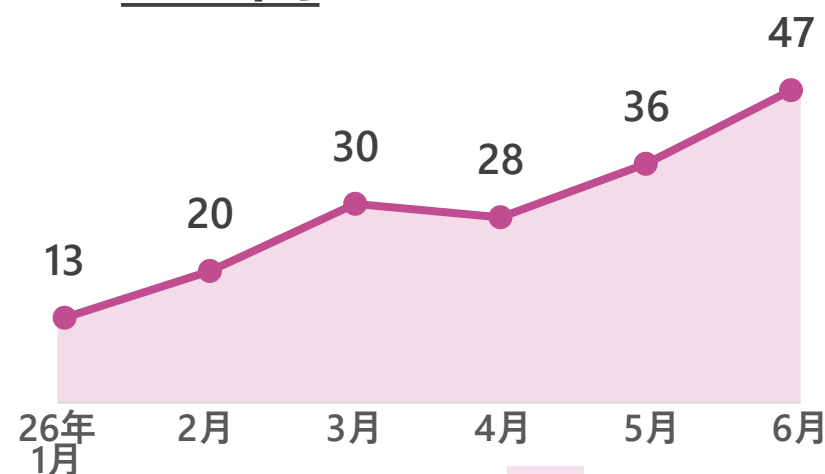
ジャック販売増加を
ドライバーに黒字達成

ジャック受注数

年間目標

350例

1Qで**111例**



- ジャック受注数は1Qで**111例**
- 2Q以降の受注数合わせ今期累計**220例**
- 143**施設の契約が完了

2027年3月期1Q業績

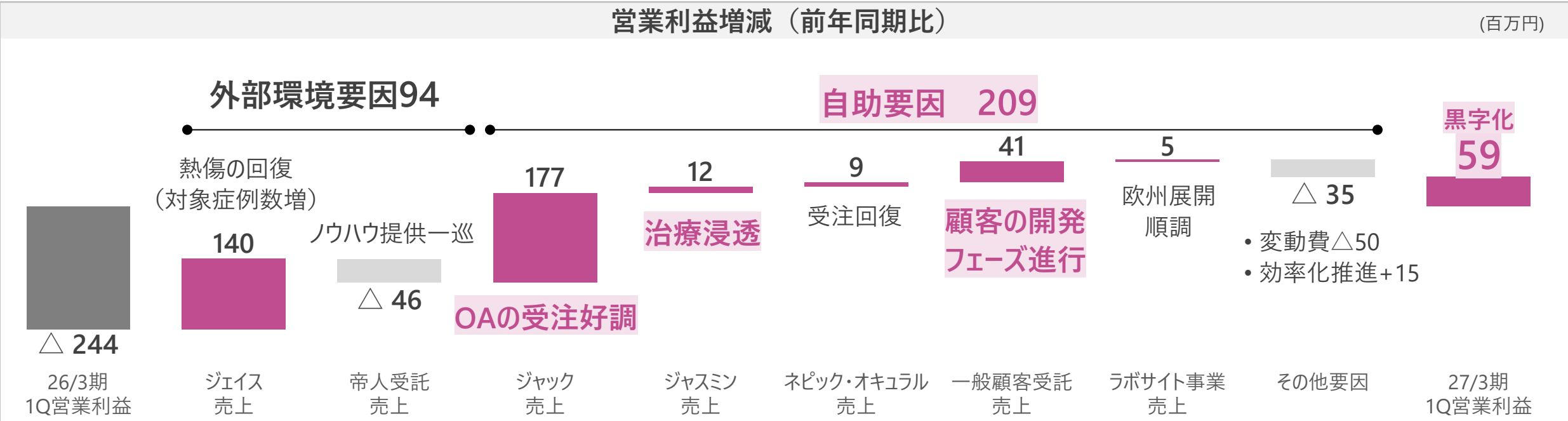
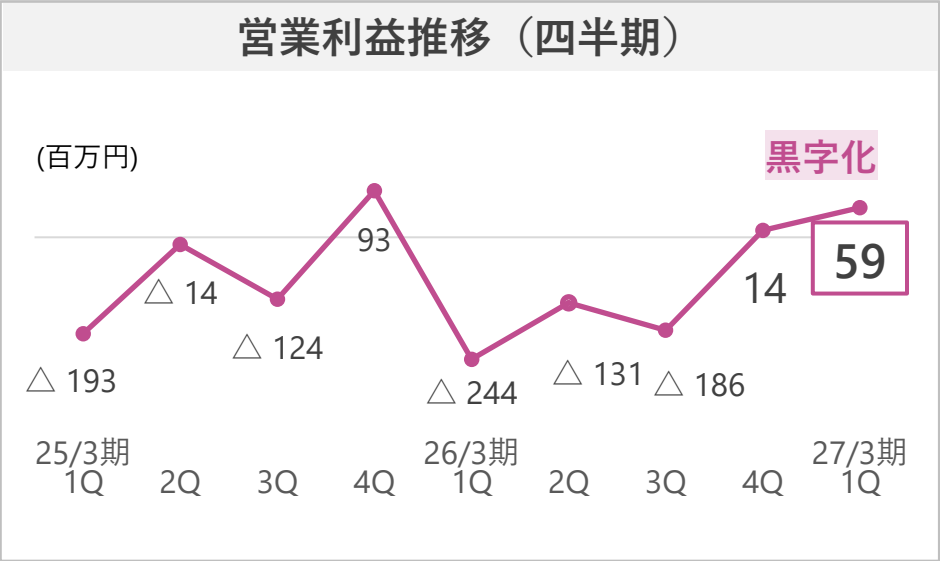
✓ 帝人受託を除く全事業で増収を達成。ジャック大幅増収が黒字化をけん引。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2026年 3月期	2027年3月期			
	1Q実績	1Q実績	対前年同期		通期見通し 2026.5.1開示
			増減額	増減率	
再生医療製品事業 売上高	262	603	340	130%	2,070
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	162	316	153	94%	1,070
軟骨領域（ジャック）	78	255	✓ 177	226%	900
角膜領域（ネピック、オキュラル）	21	30	9	47%	100
再生医療受託事業 売上高	100	94	△5	△5%	640
一般顧客受託	45	87	41	90%	430
帝人受託	54	7	△46	△85%	210
ラボサイト事業 売上高	63	68	5	8%	360
売上高合計	426	766	340	80%	3,070
売上総利益	216	512	296	137%	2,000
販売費及び一般管理費	460	453	△7	△2%	1,900
営業損益	△244	✓ 59	303	-	100
経常損益	△241	63	304	-	110
当期純損益	△242	52	294	-	100

2027年3月期1Q業績の概要

外部環境要因	✓ジェイスは熱傷の前年度落ち込んだ 対象症例数が回復 ✓帝人受託はノウハウ提供が一巡したことにより減収
自助要因	✓ジャックは、 OA適応拡大を受け、受注数大幅増加。施設拡充も順調 （1Qで111例の症例獲得、143施設と契約済※1） ✓ジャスミンは 施設拡充／患者啓発が奏功し、受注増加 ✓受託事業は 顧客の開発フェーズ進行 により増収

※1: 2026/7/29時点



販売提携によるジャック使用施設拡張



- OA患者には、「軟骨修復」と、ゆがみを正し負担を軽減する「骨切り術※1」を組み合わせた治療が求められている
- 骨切り術は約13,500件/年※2の手術が行われている。また、変形性膝関節症に使用されるジャックのうち6割※3が骨切り術と併用
- 骨切り術の人工骨・骨補填材料において国内トップシェアのオスフェリオンバイオマテリアル(株)（OSB社）と組むことで、「軟骨修復+骨切り」治療の使用施設の拡張と提案力強化を狙う
- 1Qでのジャック受注の勢いを更に加速し、膝関節温存治療普及推進することで、数年後の年間1,000例達成に向けた確固たる基盤を構築する。

※1: 骨を切って角度を矯正し、荷重バランスを変えることで痛みを和らげる外科手術で、患者自身の関節を残すことができる。 ※2: 2024年度 厚生労働省のNDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）参照 ※3: 2026/7/29時点

ジャスミンの病診連携加速



患者紹介の仕組みづくり



- 年間目標50例の受注に対し1Q 9例・今期計 26例※4まで進捗
- 治療体制が整った全国52施設※5との病診連携を強化（患者紹介の仕組み作り）
- 加えて、トップ施設の治療実績の横展開、患者啓発活動を推進

※4: 今期計：2026/7/29時点で2Q以降の受注数を含んだ数値

※5: 2026/7/29時点

受託事業のポートフォリオ強化



機能的単心室症を対象とした自家細胞治療薬「JRM-001」



水疱性角膜症を対象とした再生医療用細胞製品「AE101」



臓器移植治療における免疫拒絶抑制に向けた誘導型抑制性 T 細胞「JB-101」



網膜変性疾患を対象とした iPS 細胞を用いた製品「MastCT-03」

- 顧客基盤の多角化に加え、開発パイプラインが高付加価値フェーズへ進展し、増収に寄与
- これまで以上に「イノベーションパートナー」としての独自価値提供を強固に

ラボサイト事業のドイツ子会社設立



社名：Japan Tissue Engineering Europe GmbH

所在地：ハイデルベルク、ドイツ

事業内容：ラボサイト製品の開発、製造、販売

稼働開始：2026年度下期中

- 生きた細胞の短い保管期限や輸送リスクの障壁を克服するため、ドイツへ製造子会社設立を決定
- 現地の設備完備シェアラボと提携し、早期に強固な現地生産・安定供給体制を確立する
- 動物実験代替法の先進市場である欧州で、シェアの拡大を図る

成長施策に関する進捗：新規パイプライン

領域	開発品名	適応症	上市目標	基礎研究	前臨床試験	治験	製造販売承認	保険収載
皮膚	Allo-JaCE03	熱傷を含む皮膚欠損	2028年3月期					2026年3月承認申請
がん	JPCAR019	急性リンパ性白血病	検討中					第I/II相医師主導治験実施中 2027/3月期で、医師主導治験第I相パートの完了見通し

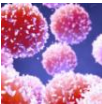
医療機器
乾燥他家（同種）培養表皮 Allo-JaCE03



他人の細胞を原材料とし、大量生産・ストック可能な新製品
ジェイスより幅広い適応症を目指す

今期中の承認に向け、順調に進捗中

自家CAR-T細胞 JPCAR019



非ウイルス性ベクターの採用により製造コストを低減
既存の治療で適応外の患者に対する治療の選択肢拡充

今期中の第II相パートへの移行に向け進捗中
がん以外の他疾患への事業拡大を検討開始

新規探索：脱毛症への新規技術探索として、
「毛包オルガノイド」の基盤技術の構築を開始

「新あいち創造研究開発補助金」に採択

再生医療製品事業の業績概要

皮膚領域

ジェイス



前年度の重症熱傷の対象症例数減少から回復し、1Qは受注が好調。重症熱傷における救命への貢献を着実に進める。

ジャスミン



1Q受注数は**9例**、2Q以降の受注数合わせ**今期累計26例**まで進捗※1。治療体制が整った**全国52施設との病診連携を強化するとともに、トップ施設の治療実績の横展開、患者啓発活動を推進。**

軟骨領域

ジャック



1Q受注数は**111例**、2Q以降の受注数合わせ**今期累計220例**まで進捗※1。ターゲット選定に基づき、ジャックによるOA膝治療の期待を高めた結果、使用施設が順調に拡大。OSB社との協業等により、更なる治療普及を進める。

角膜領域

ネピック

オキュラル

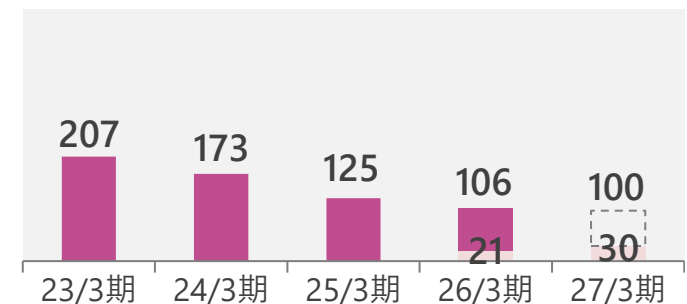
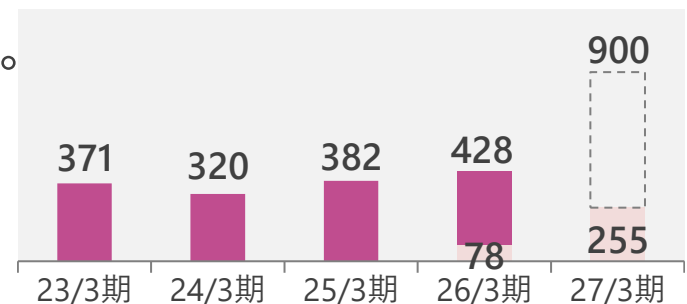
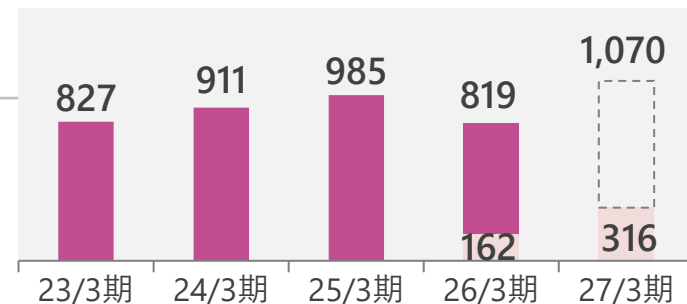


既存施設における対象症例の減少は底を打ち、**新規施設からの受注が奏功。**

医療機関からの製品評価については良好。引き続き(株)ニデックと普及活動を進める。

売上高推移 (百万円)

■ 1Q実績 □ 2Q-4Q予想



再生医療受託事業・ラボサイト事業の業績概要

再生医療受託事業

一般顧客



高付加価値な「治験製品製造フェーズ」へ複数案件が移行し、増収に寄与。

- アクチュアライズ(株) 国内第Ⅲ相臨床試験の準備開始
- (株)VC Cell Therapy iPS細胞製品の実用化に向けた受託を継続
- (株)メトセラ 治験製品製造契約を締結し、製造が進捗
- AlliedCel(株) 上市後製造を見据えた契約を締結し、受託を開始

帝人

受託収入はノウハウ提供が一巡し減収。マイルストーンは4Qに計上される前提で計画。

ラボサイト事業

欧州



現地生産による本格展開に向け、ドイツでの子会社設立を決定、下期の生産開始・売上拡大に向けて前進。定期顧客8社への丁寧なフォローを実施するとともに、新規顧客獲得活動も順調に進捗。

国内

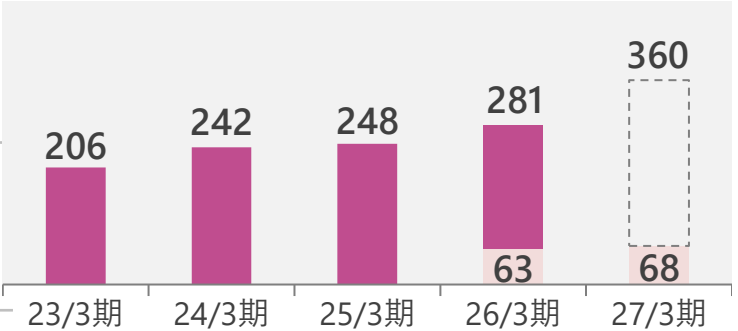
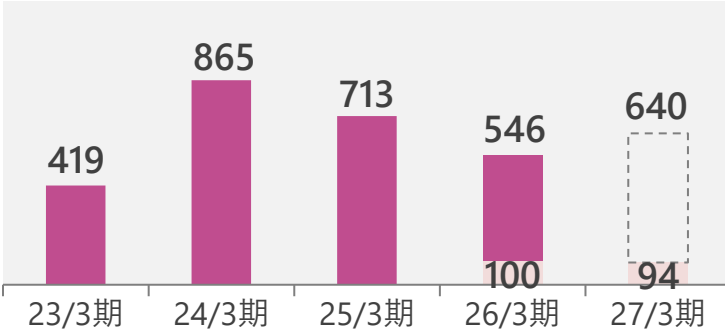
これまでの化粧品・化成品中心の市場から、医療機器・素材市場へのアプローチを本格化。

新規

研究用腸管上皮モデルの下期中の上市に向けて、開発進捗中。

売上高推移 (百万円)

1Q実績 2Q-4Q予想



2027年3月期1Q 財務諸表補足

セグメント別営業損益

再生医療製品事業が黒字化をけん引

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	営業損益		増減額	要因
	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績		
再生医療 製品事業	△35	240	205	ジャックOAの大幅 増収
再生医療 受託事業	50	45	△5	自社開拓は好調も、 帝人受託のノウハウ 提供一巡
ラボサイト 事業	18	14	△4	海外向け戦略投資
調整額	△277	△241	36	効率化推進
合計	△244	59	303	

貸借対照表

十分な現金と純資産があり、健全な財務体質を維持

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2026年3月31日	2026年6月30日	増減額
現金及び預金	3,250	3,347	96
その他流動資産	931	1,078	146
固定・繰延資産	1,500	1,483	△17
資産計	5,682	5,908	225
流動負債	560	733	173
固定負債	32	32	-
負債計	592	766	173
資本金	3,997	3,997	-
資本準備金	1,827	1,827	-
利益剰余金	△734	△682	52
純資産	5,090	5,142	52
負債・純資産合計	5,682	5,908	225

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp 11

参考資料

2026年5月1日開示の「事業計画及び成長可能性に関する事項」より抜粋しております。

再生医療製品事業

患者自身の細胞を採取・培養した製品を保険適用下で提供



ネピック／オキュラル

自家培養角膜上皮／自家培養口腔粘膜上皮

■ LSCD（角膜上皮幹細胞疲弊症）



ジェイス

自家培養表皮

■重症熱傷 ■先天性巨大色素性母斑 ■表皮水疱症



ジャスミン

メラノサイト含有自家培養表皮

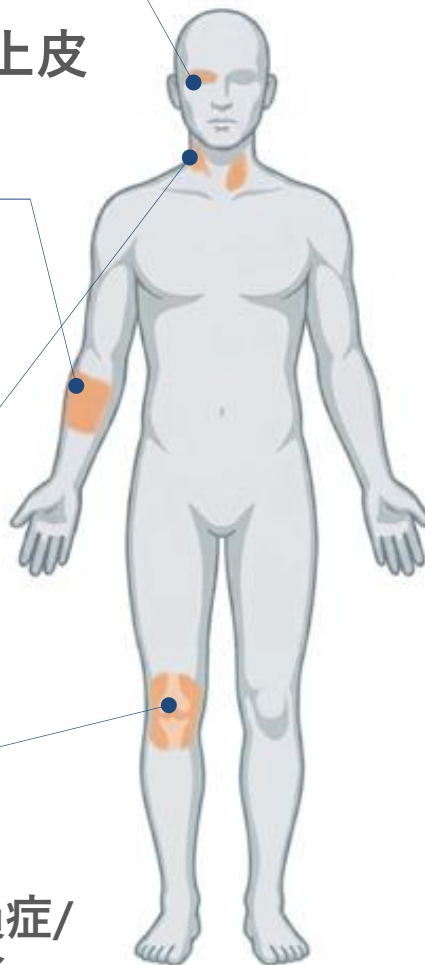
■白斑



ジャック

自家培養軟骨

■ OA（変形性膝関節症） ■ 外傷性軟骨欠損症／
離断性骨軟骨炎



ラボサイト事業

動物実験の代替として、ヒトの細胞で化粧品や薬などの安全性を確認するキットの販売



ラボサイト LabCyte

研究用ヒト培養組織

■表皮モデル ■角膜上皮モデル



エピセンサ EpiSensA

当社製品を使用する
国際的なガイドラインに準拠した
皮膚感作性試験法

■物質が皮膚アレルギーを引き起こす
可能性を評価する試験

四半世紀にわたる5製品の上市経験を通じ、 医薬品と異なる自家細胞の独自プラットフォームを構築

会社名	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング (J-TEC)
本社	愛知県蒲郡市
代表者	代表取締役 社長執行役員 山田 一登
設立	1999年2月1日
資本金	39億9,767万円
従業員	200人（2026年3月末現在）
事業内容	1. 再生医療製品事業 2. 再生医療受託事業 3. ラボサイト事業
主要株主	帝人株式会社（57.7%） 株式会社ニデック（10.4%）

- 
- 1999 創業
 - 2007 ジャスダック証券取引所NEOに上場（現：東証グロース）
 - 2009 自家培養表皮ジェイス（重症熱傷）の保険収載
 - 2013 自家培養軟骨ジャック（外傷性軟骨欠損症/ 離断性骨軟骨炎）の保険収載
 - 2016 自家培養表皮ジェイス（母斑）の保険収載
 - 2019 自家培養表皮ジェイス（表皮水疱症）の保険収載
 - 2020 自家培養角膜上皮ネピックの保険収載
 - 2021 自家培養口腔粘膜上皮オキュラルの保険収載
 - 2024 メラノサイト含有自家培養表皮ジャスミンの保険収載
 - 2026 自家培養軟骨ジャック（変形性膝関節症）の保険収載

社会実装フェーズへ

日本初の再生医療プラットフォームとして 安定した収益基盤構築と飛躍的な成長を目指す



【実績】日本初の再生医療 プラットフォーム

1999年創業。四半世紀にわたり国内の
再生医療産業を牽引

5

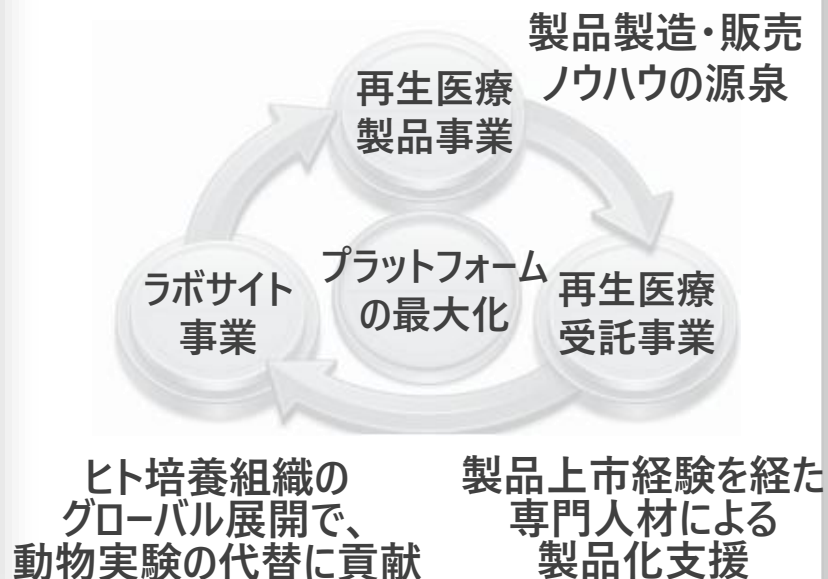
世界トップクラスの5品目承認実績

3,700+

3,700例を超える患者への製品提供
実績と医師との強固なネットワーク



【基盤】3本柱による強固な ビジネスモデル



【成長】売上50億円達成に 向けた成長ドライバーの存在



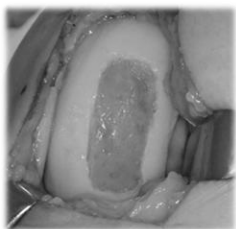
国民病の変形性膝関節症
に保険収載されたジャック
(目標売上30億円)



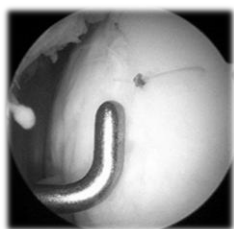
乾燥他家（同種）培養
表皮Allo-JaCE03の
製造販売承認申請を完了

競合優位性

- ✓ 既存の保存療法（運動・薬物）や人工関節置換術とは異なる「**根治**」を目指す**唯一のアプローチ**
※軟骨は一度損傷すると自然に治る可能性は極めて低い
- ✓ **現時点で同様の作用機序の製品はなし**
- ✓ 既存適応の上市から**10年以上の使用成績の蓄積**
- ✓ 治験結果に基づいた**有効性・安全性**



移植前



移植 6 ヶ月後



移植 1 年後

治験結果：97.4%の修復あり

市場性

- ✓ 従来製品と異なる国民病をターゲットとして、保険適用による再生医療の認知度向上を目指す

OA自覚症状あり

約1000万人

適用となり得る層*

約1万人/年

*手術件数及び
当社製品の適用
条件から推計

初期ターゲット

約1,000人/年

ジャックOAの保険適用条件

OAと診断された患者

保存療法（運動・薬物）で改善せず

軟骨欠損面積2cm²以上*

*かつ正常軟骨が
一定以上残存

再生医療製品事業の製品ラインナップ

製品	自家培養表皮  国内第1号の再生医療等製品	自家培養軟骨  日本発の技術による国内第2号の再生医療等製品	自家培養角膜上皮  眼科領域で国内初の再生医療等製品	自家培養口腔粘膜上皮  眼科領域で2つ目の再生医療等製品	メラノサイト含有自家培養表皮  患者さんが多い白斑治療用再生医療等製品
承認取得 保険収載	2007年10月 2009年 1月	①2012年 7月②2025年5月 ①2013年 4月② 2026年1月	2020年 3月 2020年 6月	2021年 6月 2021年 12月	2023年 3月 2024年 10月
適応対象	①重症熱傷 ②先天性巨大色素性母斑 ③栄養障害型表皮水疱症/接合部型表皮水疱症	① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 ② 変形性膝関節症	角膜上皮幹細胞疲弊症	角膜上皮幹細胞疲弊症	非外科的治療が無効又は適応とならない白斑
保険 償還価格	採取・培養キット 4,460千円 調製・移植キット 154千円 / 枚	採取・培養キット 1,000千円 調製・移植キット 1,890千円	採取・培養キット 4,280千円 調製・移植キット 5,470千円	採取・培養キット 4,280千円 調製・移植キット 5,470千円	採取・培養キット 4,460千円 調製・移植キット 154千円 / 枚
技術 導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授	広島大学 越智 光夫 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授	大阪大学 西田 幸二 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授

✓ 「再生医療の未来を共に創るイノベーションパートナー」として、顧客のシーズの製品化を包括的に伴走支援します。

J-TECが積み上げてきた価値

開発ノウハウ

規制への対応力

上市・製造実績

人脈・信頼

フル機能の保有



×
お客様
との連携

×
臨床現場
との連携

×
TEIJIN
との協働

パートナーと製品を共に届ける仕組みづくり

累計受託件数 296件

項目	件数
製品開発支援 技術移管、試験培養、非臨床試験 分析法バリデーション、SOP等文書作成等	121
薬事系支援 PMDA相談（事前面談・対面助言） 安確法対応等	30
製造・検査支援 治験製品及び細胞加工物	42
臨床開発系支援(CRO) 治験実施計画骨子、統計解析、データマネ ジメント、治験総括報告書作成等	28
設備系支援 製造施設の設計・運用に関するコンサル等	7
その他 営業支援、機器設置、細胞保管等	68

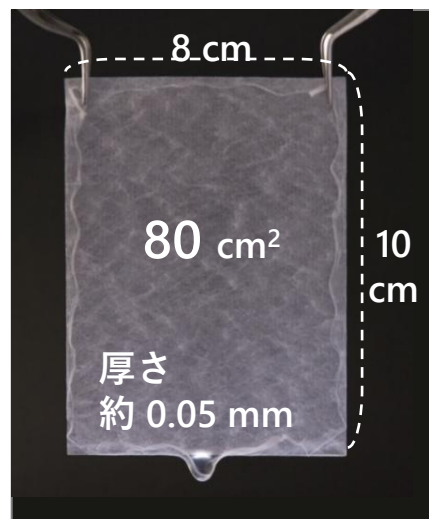
ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品の開発、皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用

製品提供の流れ



	ラボサイト エピ・モデル	ラボサイト エピ・キット	ラボサイト 角膜モデル
製品	ヒト3次元培養 表皮 	ヒト表皮モデル 作製キット 	ヒト3次元培養 角膜上皮 
OECD テストガイド ライン収載	皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D)	—	眼刺激性試験 (TG492)
ISO (医療機器)	皮膚刺激性試験 (ISO10993- 23)	—	—
販売開始	2005年3月	2013年4月	2010年7月



適応対象

① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療等、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用

③ 栄養障害型表皮水疱症・接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用

保険償還 価格

・採取・培養キット 4,460千円

・調製・移植キット 154千円/枚

※高額療養費制度対象

算定限度：（熱傷）40枚 ※医学的に必要がある場合は50枚 （母斑）30枚 （表皮水疱症）50枚

技術導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授

主な施設基準

重症熱傷は施設基準の届出を行っている医療機関、先天性巨大色素性母斑および表皮水疱症はなし

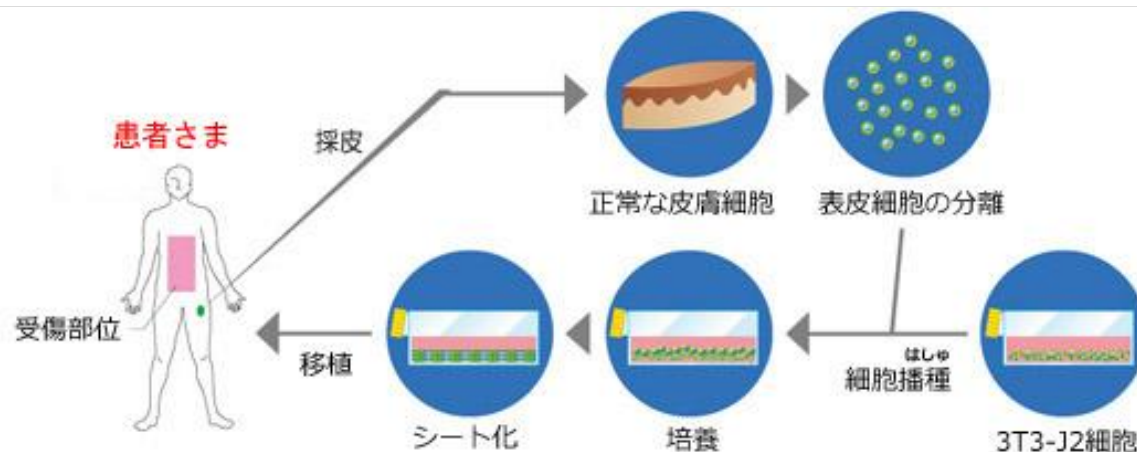
治療 タイムライン

製造・培養期間 組織採取から納入まで約3週間

製品有効期間 56時間

生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定

製造プロセス



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



適応対象

- ① **白斑*** *尋常性白斑、vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑
- ・非外科的治療（外用療法や光線療法）が無効又は適応とならない12歳以上の白斑患者
 - ・12ヶ月程度症状が固定

保険償還
価格

- ・組織運搬セット 4,460千円
 - ・培養表皮パッケージ 154千円/枚
- ※高額療養費制度対象であり、
平均所得者の自己負担は22万円程度（所得により変動）

技術導入元

伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授

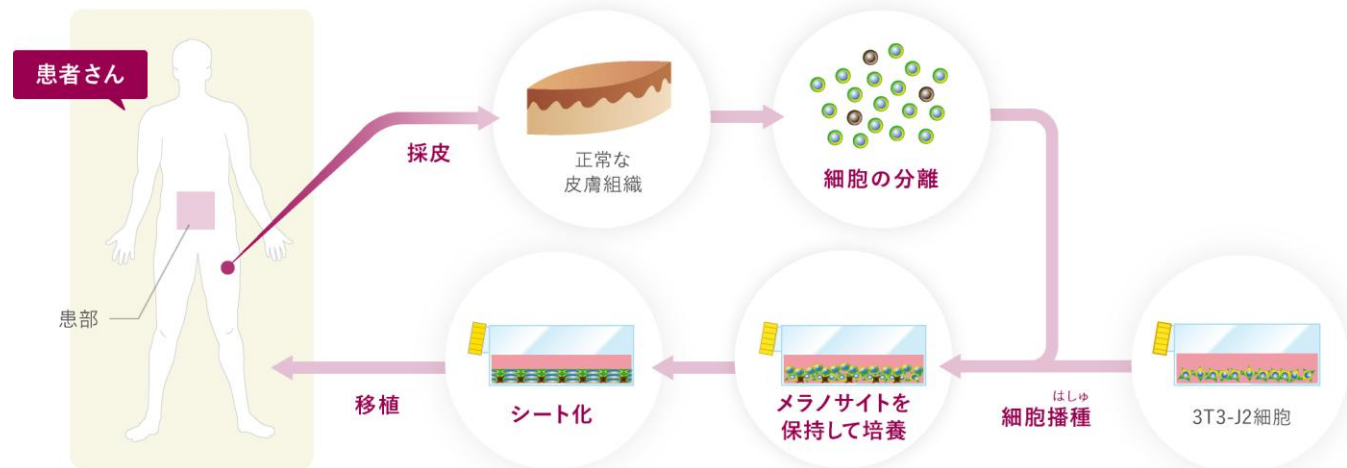
主な施設基準

皮膚移植術を3例以上実施した経験を有する常勤の医師、又は経験を有する医師の指導下での手術を実施する常勤の医師

治療
タイムライン

製造・培養期間 組織採取から納入まで約5週間
製品有効期間 60時間
生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定

製造プロセス





適応対象

① 外傷性軟骨欠損症・離断性骨軟骨炎

他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が 4cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

② 変形性膝関節症

運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が 2cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

保険償還
価格

・採取・培養キット 1,000千円

・調製・移植キット 1,890千円

使用した個数に係らない

※高額療養費制度対象であり、
平均所得者の自己負担は25万円程度（所得により変動）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授

主な施設基準

大学病院等の教育・研究施設、または膝関節手術を年間100例以上行っている施設

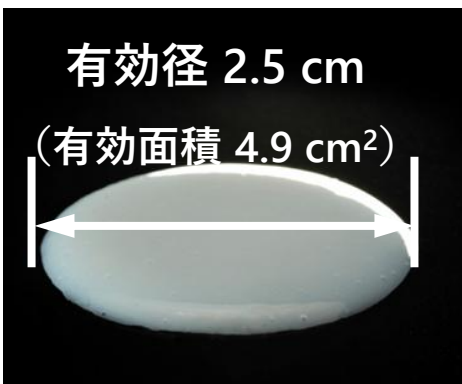
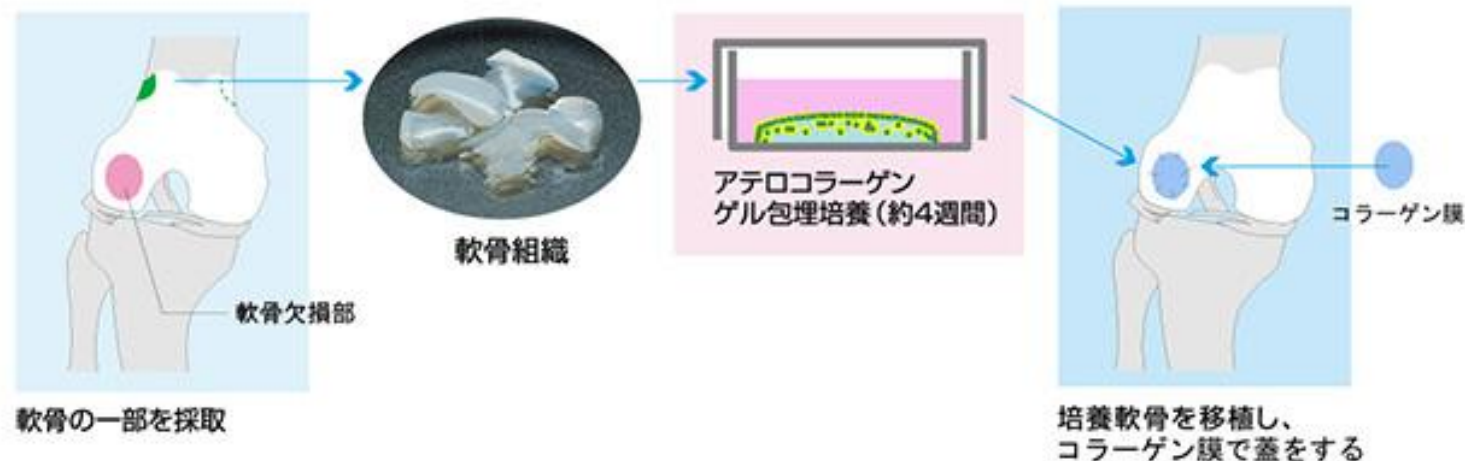
治療
タイムライン

製造・培養期間 軟骨組織の採取から納入まで約4週間

製品有効期間 80時間

生着期間 安定するまで術後約4週間は松葉杖や装具を使用

製造プロセス



自家培養角膜上皮ネピック／自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック

適応対象	角膜上皮幹細胞疲弊症（LSCD）*		
保険償還 価格	・組織運搬セット ・（ネピック） 培養角膜上皮パッケージ （オキュラル） 培養口腔粘膜上皮パッケージ	4,280千円 5,470千円	※高額療養費制度対象
技術導入元	ネピック 伊モデナ大学 G. Pellegrini教授・M. De Luca教授 オキュラル 大阪大学 西田 幸二 教授		
主な施設基準	角膜移植の術者経験を有する常勤医師が配置されている施設であること。		
治療 タイムライン	製造・培養期間 製品有効期間 生着期間	組織採取から納入まで約4週間 60時間 12週間程度で生着、6-12か月で眼表面が安定	
製造プロセス	患者さん 移植 酵素処理 細胞を増やすため フィーダー細胞に播種 分離した 角膜上皮細胞 培養 シート化 シート剥離 ネピック® 自家培養角膜上皮 角膜炎の輪部組織の採取 オキュラル® 自家培養口腔粘膜上皮 口腔粘膜組織の採取		

*ネピックの適応対象は、スティーヴンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、移植片対宿主病、無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患、再発翼状片、特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症の患者は除く

*ネピックの適応対象は、スティーヴンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、移植片対宿主病、無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患、再発翼状片、特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症の患者は除く